

# うさぎぐみだよ

きらら保育園 令和5年11月1日発行

肌に触れる風もだんだんと冷たくなり、晩秋の気配が感じられるようになりました。外の空気は冷たくても、園内は遊んでいると子どもたちの熱気で汗をかくほど暖かいです。毎日「先生、砂男ごっこしよう!」と言われ「先生は砂男ね」と保育者がなぜか砂男になり、皆を追いかけてクラス中を走り、子どもたちは保育者につかまらないように逃げ回っています。汗をかくほど走っても、もう一回やろうと子どもたちは疲れを知らず、繰り返し楽しんでいます。

そんな子どもたちの遊びの中では、同じ物が欲しくなることが多く、取り合いになることもあります。お友だちが使っている物が欲しい時は、黙って持つのではなく、「貸して」と声をかけること、貸してくれた時には「ありがとう」の気持ちを返してあげて伝えることを伝えています。また、「貸して」と言われたら「嫌よ」ではなく、「今使っているから後で」などの言葉の方が、お友だちは悲しくならないということもお話しています。うさぎぐみになり7ヶ月経った子どもたち。気持ちを言葉にしていくこと、自分の気持ちだけでなく、お友だちの気持ちも感じていけるよう、一緒に関わりながら見守っていきたいと思います。

## ～うんどうかい頑張ったね～

運動会では、お忙しい中ご参加いただきありがとうございました。子どもたちは日々の練習から頑張り、当日も玉入れやかけっこ、親子競技と精一杯力を出し切ってくれました。みんなの思い出に残る運動会になっていたら嬉しいです。



## お散歩に行ってきたよ

お天気の良い日にりすぐみさんも誘って赤レンガ郷土館までお散歩に行っていました。往復手をつないで歩き、途中の信号で「赤は?」と聞くと大きな声で「とまれ!」と答えていました。道端ではねこじゃらしを、郷土館ではアリを見つけたり、葉っぱや小さな実拾って楽しむことができました。今年は天気のせいかわり落ち葉があまりなかったのですが、また秋を探しに行きたいと思っています♡



## 最近の子どもたちの様子



僕はウルトラマンだ

お絵かき大好きなんだ～



粘土でおひげをつけた



さなぎになっているよ



砂で美味しい物を作るよ



毎日モリモリ食べちゃおうよ～